

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7879 国際ビジネス論B			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜1限				
教室	B202教室				
代表教員	金 雅美				
担当教員	金 雅美				
テーマと到達目標	「グローバル」（グローバルとローカルの造語）という言葉を使いワードとして、国際経営のマネジメントと戦略に関する理論を学習する。国際経営が直面する課題を発見し、その打開策を見いだせる「グローバル人材」の育成に貢献することも目的である。				
概要	後期の国際ビジネス論は「戦略」が中心である。グローバル企業の、①国際マーケティング、②国際経営組織、③国際経営戦略、④国際技術戦略について学習する。授業は主に、毎回の授業ごとに配るプリントを使用して行う。この授業で重要なのは、メモをとることである。また毎回の授業の最後には、学生の理解度を確認（または授業の内容を深める）ために、小テスト（またはリアクションペーパー）を実施する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	前期授業の説明：序論				対面授業
第2回	マーケティング戦略				対面授業
第3回	国際経営組織①				対面授業
第4回	国際経営組織②				対面授業
第5回	国際経営戦略①				対面授業
第6回	国際経営戦略②				対面授業
第7回	国際経営戦略③				対面授業
第8回	国際技術戦略①				対面授業
第9回	国際技術戦略②				対面授業
第10回	国際技術戦略③				対面授業
第11回	国際技術戦略④				対面授業
第12回	国際経営戦略の課題：コーヒー豆とフェアトレード				対面授業
第13回	国際経営戦略の課題：シルバーバーチ（魚）と環境破壊				対面授業
第14回	課題又はケーススタディ			課題またはケーススタディ	対面授業
第15回	課題又はケーススタディ				対面授業
成績評価の基準	学期末試験50%、10回の課題（合計30問）50%の合計。全ての課題の提出がない限り、不可になるため、受講する際には、全ての課題の提出が必要になる。				
履修にあたっての留意事項	基本は対面授業であるが、オンライン上の授業になった場合は、資料配布型の授業になる。10回分の授業資料の最後に提示された課題をすべてこなし、学期末課題までの全ての提出を行う自制心がある学生だけが受講すること。10回分の資料に提示された課題と指定された教科書を理解しない限り、最後に提出する学期末課題をこなすことは難しい。また、1問でも課題の提出が抜けた場合、このクラスは合格できない。この授業のために提出する課題の数はかなり多く、困難である。以上のことが理解できた学生だけの受講が望ましい。また、教科書の購入は必須であり、教科書を使用しないで学期末試験を受けた場合も点数はかなり低い（ほとんど不可になる）。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	国際経営 茂垣 学文社 2300円 教科書は必ず購入すること。	教科書(ISBN)	
参考文献		参考文献(ISBN)	